



▲「OUKAS」ブランド第1号物件「OUKAS船橋」の外観。
円内は野村不動産ウェルネス 関敏昭社長

野村不動産(東京都新宿区)および野村不動産ウェルネス(同)は、今年10月に船橋に開設する第1弾のサービス付き高齢者向け住宅の詳細を発表した。

ブランド名は「OUKAS」をつくるという意味合いを込め、「謳歌(OUKAS)する明日(AS)」からとった。対象はア

クティブシニア。野村不動産と三菱商事が2014年に開設した分譲マンションやショッピングセンタ

ー、病院などの複合開発地「ふなばしの森シティ」の近接地に建設する。野村不動産ホー

ルディングスが100%子会社の野村不動産ウェルネスが運営を手掛ける第1号物件だ。

ターゲット層について野村不動産ウェルネス松本裕樹専務は「分譲マンション『アラウド』のターゲット層と同程度の経済状況にあり、船橋に地縁がある層を想定している」と語る。

鉄筋コンクリート造6階建てで、1人入居用の居室が58室、2人用が67室の計125室。敷地面積は4632平米で共用部には大浴場のほか、レストラン、ゲストダイニング、

野村不動産

サ付き住宅 船橋で125室 富裕層シニア向け 10月に

及び居宅介護支援事業所を開設予定。グループ会社の野村不動産ライフ&スポーツと共同開発した運動イベントも実施する。

今後10年間で40棟5000室供給野村不動産ホールディングスは今年3月1日に、創生事業団(福岡市)との業務提携および子会社で都内で介

護付有料老人ホームを運営するJAPANAライフデザイン(東京都港区)との資本提携を実施している。

「JAPANAライフデザインから得た知見も活かして「OUKAS」ブランドを、サ付き住宅に限定せず広げていきたい」(松本専務)。

今後10年間で40棟、5000戸の供給を目指す方針だ。

介護ビジネスの未来を創る
週刊 高齢者住宅新聞
Elderly Press Newspaper

2017年(平成29年)
4月19日
第442号 (毎週水曜日発行)
(株) 高齢者住宅新聞社
〒104-0061 東京都中央区銀座8-12-15
☎03-3543-6852(編集部)
発行人 西岡一紀
年間購読料 22,680円(送料込・税込)
ホームページ
http://koureisha-jutaku.com

TOPIX
ニュース・総合 1~3面
東急不動産 ケアレジデンス完成
介護Biz 4~7面
有老で地域交流事業
医療 8面
東大、在宅医を養成
特集 14・15面
熊本地震1年を振り返る
行政・ネットワーク 16面
介護士合格率過去最高に
地方都市 17面
エヌ・ビー・ラボ破綻
ヘルスケア フォーカス 20面
介護の森 鹿児島市内に特養

第13回
保険外サービスの可能性
社会福祉法人 とうほうえん 廣江研理事長

混合介護を解禁すべき
社会福祉法人 とうほうえん 廣江研理事長

今回は、社会福祉法人とうほうえん(鳥取県米子市)の廣江研理事長に、社会福祉法人と保険外事業について話を聞いた。

まず、保険外サービスをどのように捉えていますか。
廣江 社会福祉法人が自ら経営を考えていかなければならぬ時代がやってきます。社会的弱者のセーフティネットとしての役割を主張するだけではなく、訪問看護・介護など、いろんな在宅領域に

出していくべきだと考えています。その中の横出しサービスとしての生活支援サービスなどはわかりやすい事例です。また、混合介護に代表される総合支援こそ社会福祉法人が力を発揮できる部分ではないでしょうか。制度ありきではなく、必要な支援を考えていけばおのずとそうした発想が生まれてくるでしょう。新しいアイデアを具現化して、業界内で事例を積み上げていくべきだと思います。

エヌ・ビー・ラボ破綻、負債14億 エヌ・ビー・ラボ(横浜市)は、2017年3月29日に東京地裁より破産手続き開始決定を受けた。負債は、労働債権を含む債権者約1000名に対し、約13億9700万円。同社は、小規模低価格型のサービス付高齢者向け住宅や住宅型有

料老人ホームの運営を主力に、高齢者住宅の開設コンサルティングを行っていた。
なお、破産管財人の光和総合法律事務所(東京都港区)の池内雅利弁護士によると、「エヌ・ビー・ラボが運営していた114の施設は、全て複数の企業が引き継いで運営している」という。

△関連記事17面▽

神鋼ケアライフ買収

住友林業 2年後、30施設へ

住友林業(東京都千代田区)は、神戸製鋼所(神戸市)から神鋼ケアライフ(同)の発行済株式66.7%を今月28日に取得する予定だ。

同社は、介護事業を注力分野のひとつとすることを中期経営計画で示している。連結子会社のフィルクアを中

心に、2019年3月期までに有料老人ホームを現在の12施設から20施設へ、デイサービス

を3施設から10施設へ増設する目標だ。神鋼ケアライフは1991年設立の神戸製鋼所の連結子会社。介護付有料老人ホーム3施設、居宅介護支援や訪問看護・介護、福祉用具貸与・販売、住宅改修、デイサービスの在宅介護サービス事業所8施設を展開している。2016年3月期の売上高は約50億円。今回の株式取得は、介護事業の更なる拡大を目指すもの。同時に、阪神エリアでの事業基盤を確立する。神鋼ケアライフが運営する大規模・医療連携型の自立高齢者向け有料老人ホームに加え、今後は保険外のサービスも含めた在宅サービスへ進出する。「今回の買収を踏まえ、認知症対応や医療的サービス等の介護ニーズの多様化に対応できる体制を整えたい」としている。

ス。3施設から10施設へ増設する目標だ。神鋼ケアライフは1991年設立の神戸製鋼所の連結子会社。介護付有料老人ホーム3施設、居宅介護支援や訪問看護・介護、福祉用具貸与・販売、住宅改修、デイサービスの在宅介護サービス事業所8施設を展開している。2016年3月期の売上高は約50億円。今回の株式取得は、介護事業の更なる拡大を目指すもの。同時に、阪神エリアでの事業基盤を確立する。神鋼ケアライフが運営する大規模・医療連携型の自立高齢者向け有料老人ホームに加え、今後は保険外のサービスも含めた在宅サービスへ進出する。「今回の買収を踏まえ、認知症対応や医療的サービス等の介護ニーズの多様化に対応できる体制を整えたい」としている。

4月14日、熊本地震の発生から1年を迎えた。住宅被害は約20万棟、211人の尊い命が奪われた。熊本県では3月現在で4179世帯が仮設住宅に暮らしている。▽被災地へ取材に行っ

た際、「こんな大地震は経験したことがない」と、10年以上の険しい復興の道のりを歩む事業者は途方にくれていた。東日本大震災の惨事は

介護 始めよう

「心のどこかで対岸の火事だった」と。災害大国・日本で暮らす限り、「過去に起きなかった」は、現在や将来の安全を約束するものではない。▽多くの場合、人は経験から学ぶ。

今週の主な動き

- 4月19日(水)
・厚生労働省「中央社会保険医療協議会(TKPGーデンシティ竹橋)」
・UBMジャパン「ヘルスケアIT 2017」(東京ビッグサイト)
※4月21日まで開催
※ファインケミカルジャパン2017、ジャパン ライフサイエンスウィーク2017、ファインケミカルジャパン2017など同時開催
4月20日(木)
・社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会・テレビ大阪・テレビ大阪エ

- スプロ「バリアフリー2017」(インテックス大阪)
※慢性期医療展2017と介護未来展2017同時開催
・シスケア 高齢者住宅セミナー「よくわかるサ高住基礎講座」(シスケア・セミナールーム)
4月22日(土)
・一般社団法人これからの福祉と医療を实践する会「第420回・35周年記念例会」(戸山サンライズ)
・一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会「設立2周年シンポジウム」(笹川平和財団ビル11階国際会議場)

